



帝京平成大学  
オープンキャンパス

# 薬学部

楽しく学ぼう！

2016 07 30

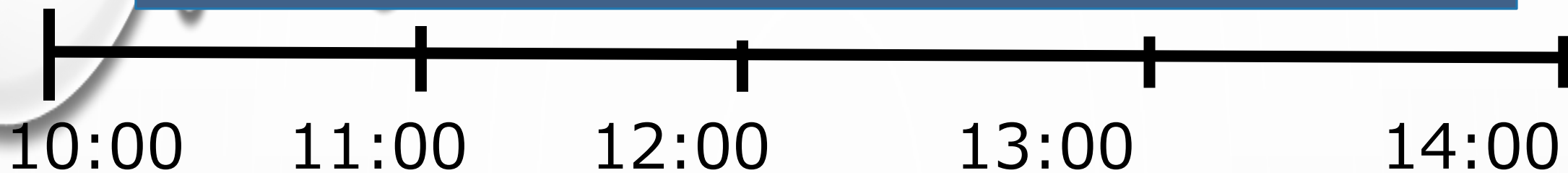
模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

# 薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール



## ◆全体説明、学科説明、模擬授業（303教室 3階）

10:30 12:00

## ◆粉の薬を調剤しよう！（調剤実習室 3階318）

1回目12:00-13:00 2回目13:00-14:00

## ◆オープンラボ（専門ラボ6 4階416）

「細胞やDNAを見てみよう」

11:00 14:00

## ◆オープンラボ（専門ラボ3 3階）

「がん細胞と闘うビフィズス菌を見てみよう」

11:00 14:00

## ◆学生交流・進学相談(アリーナ薬学部ブース 5階)

「薬学のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」

11:00 14:00

### その他（全学部共通）

学食体験	11:00-14:00	(学生食堂 1階)
入試相談	11:00-14:00	(502教室 5階)
学生生活相談	11:00-14:00	(531教室 5階)
宿舎相談	11:00-14:00	(501教室 5階)

**模擬授業** (11:20-12:00)  
303教室 (3階)

ゲノムから創薬へ～医薬品の  
開発と発展について～

- 薬はどうやって開発できるのでしょうか。現代は薬を開発することを創薬と言います。薬一つを開発することはとても長い道のりであり、様々な技術が用いられています。ゲノム（遺伝子）から創薬をするゲノム創薬の流れや技術を紹介します。



准教授 磯田 勝広

大阪大学薬学研究科修了、博士（薬学）、大阪大学大学院薬学研究科助教、経て現在帝京平成大学薬学部にて生物化学実習とバイオテクノロジーの講義を担当しています。

なんでも不思議に思って  
そして考える習慣を身に  
つけるといいよ。

## 体験実習

# 粉のくすりを調剤しよう！

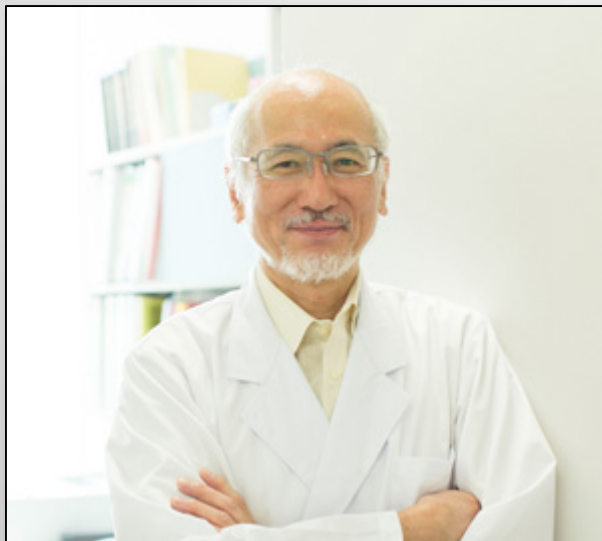
会場・時間：318 調剤実習室（3階）

第一回 12:00～13:00 第二回 13:00～14:00

（受け入れ人数：先着順それぞれ15名）



- ☑ 散剤は、小児・高齢者における調剤で使用されています。
- ☑ 散剤の調剤では1回分ずつパックするための専用の機器を使います。
- ☑ 本コーナーでは、実際の機器を使い、散剤の調剤を体験します。



中村 均 教授  
薬学臨床教育研究センター長

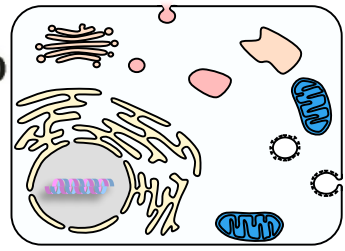
千葉大学医学部附属病院副薬剤部長  
東京大学医学部附属病院副薬剤部長  
日本大学薬学部教授・薬剤師教育センター長  
歴任

現在に至る



百 賢二 准教授

2016年3月まで筑波大学附属病院  
薬剤部で薬剤師として勤務  
（がん専門薬剤師）  
現在に至る

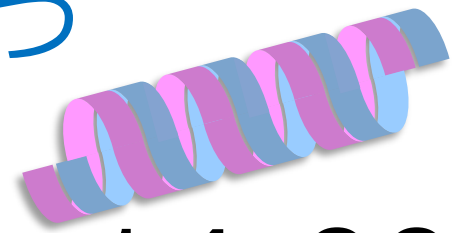


# オープンラボ

薬学のラボを体験しよう！！  
細胞やDNAを見てみよう

会場・時間

専門ラボ6 (4階) 11:00~14:00  
(見学随時)



- 私たちの体は細胞という小さな『粒』が集まってできています。細胞の中心には核という更に小さい粒があって、その中に遺伝物質のDNAが入っています。我々は新しい薬の『種』を見つける為、病気や疾患に関する生命現象について細胞やDNAを用いて研究しています。今回のオープンラボでは
- ①顕微鏡で細胞を観察したり、②PCR法で増幅したDNA断片を観察したりして、普段おこなわれている研究の一部を体験してみてください。
- 担当教員

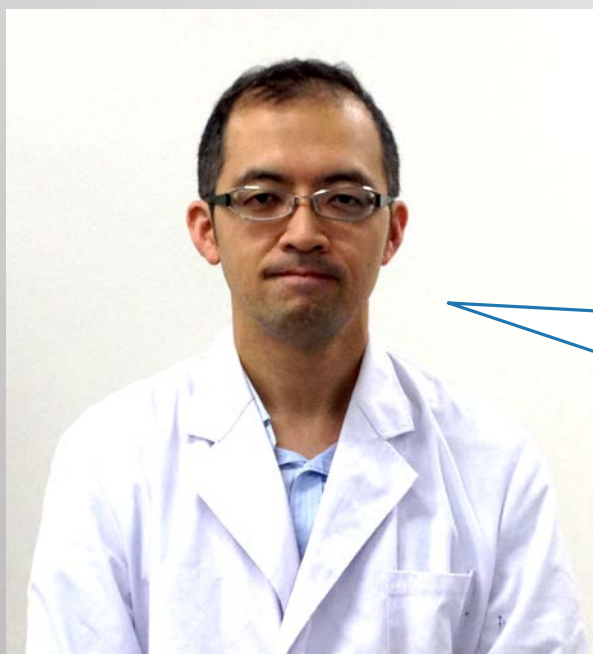
ヒトの体には約60兆もの細胞が存在し、それぞれの細胞の中にある遺伝子が生命現象を調節しています。普段は目に見えない細胞や遺伝子(DNA)を実際観察してみましよう。



細胞生化学ユニット

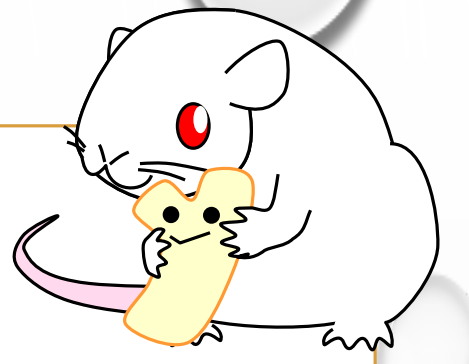
後藤芳邦

細胞生化学ユニット  
青木一真



新しい薬の開発には、その対象である病気や疾患の背景にある生命現象を詳しく理解することが必要です。そのため薬学部では分子・細胞レベルでの基礎的な生命科学の研究も活発におこなわれています。





## オープンラボ

薬学のラボを体験しよう！！  
がん細胞と闘うビフィズス菌をみてみよう

会場・時間

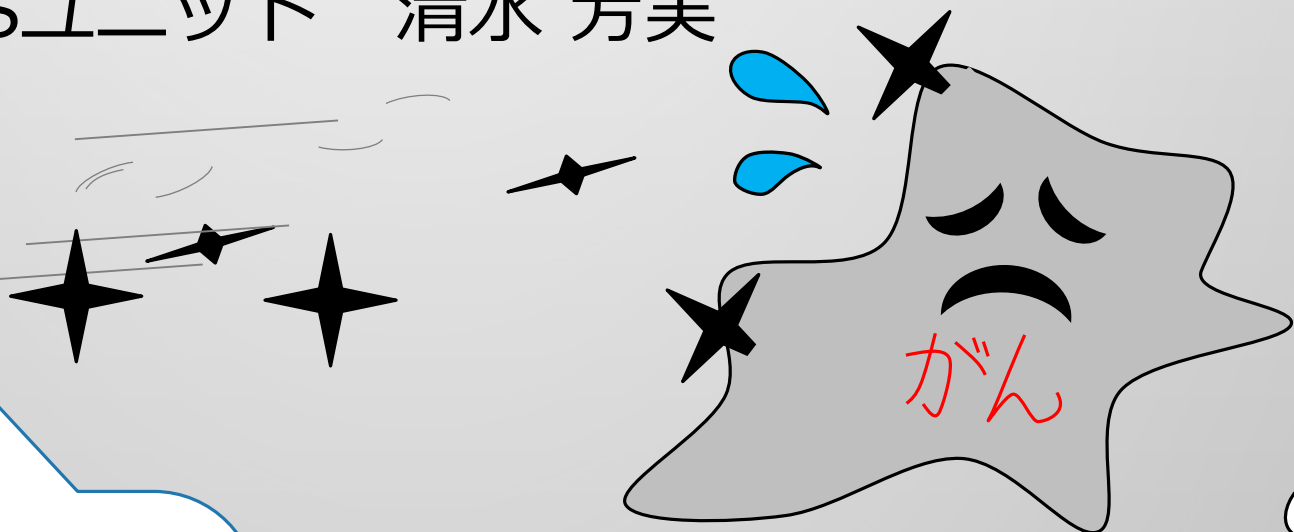
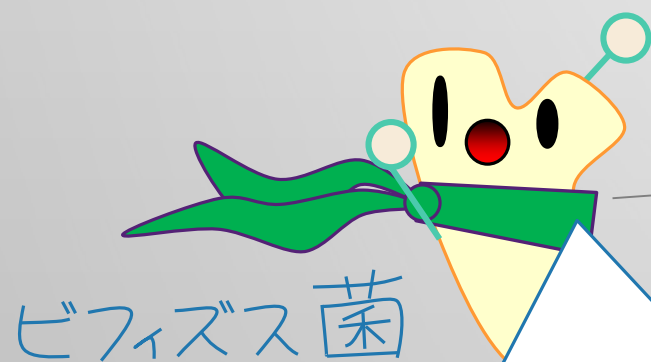
専門ラボ3（3階312） 11:00～14:00

現在、国内で医療に使われる費用（医療費）は増え続けています。中でも、がんは患者さんの数の増加と高価な医薬品のために、医療費が増える大きな要因となっています。

私たちの研究グループでは、これまでの医薬品開発の歴史の中で、途中で開発を打ち切られてしまったものを復活させ、時間とお金をかけずによく効く治療法を開発しようとしています。

その研究から生まれたのが、ビフィズス菌を使ったがん治療法です。今回のオープンラボでは、ビフィズス菌をどのようにがんと戦わせているのか、その戦略や、実際にビフィズス菌を培養しているところなどを見ることができます。

担当教員 抗体DDSユニット 磯田 勝広  
抗体DDSユニット 清水 芳実



がん細胞のいるところにすばやく近づいて、秘密の武器でがん細胞をねらい撃ち！

みんなのおなかの中にいる仲間と一味ちがう私たちを見に来てね！

ぼくも活躍するよ！  
どんな活躍かはオープンラボに来てみてのお楽しみ！

